



西中だより

第13号 令和6年9月25日(水)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

今年度の全国学力・学習状況調査が4月18日に行われました。その結果が、全国や県の状況とあわせて、各校に通知されましたので、本校の傾向や今後の改善の方策などについて、お知らせします。

○その前に・・・全国学力・学習状況調査とは・・・

毎年、本校では、「全国学力・学習状況調査」の結果などを学校だよりや学校HPでお知らせしています。その前に、この機会にあらためて、「全国学力・学習状況調査」とは、どんな目的で、どんな内容で行われているのかを、確認しておきたいと思います。以下に、そのポイントを示します。

- 実施主体: 文部科学省
- 対象となる学校・学年: 全国の小中学校の最高学年全員(小6、中3)
- 調査内容: ①**学力調査**: 国語・数学を基本とし、3年に一度、英語や理科を加える ※今年度は国・数のみの実施年度
②**学習状況調査**: 学習環境や生活環境を問う質問紙調査(アンケート)
- 目的: 学校においては、自校の生徒の学力や学習環境・生活環境を把握・分析し、今後の指導の充実や改善に役立てる
- 実施時期: 例年4月中下旬、各校による自校の結果公表は9月中

○「学力調査」(国語・数学)の結果をお知らせします

正答率

	国語	数学
全国平均	58.1	52.5
山梨県平均	58	51

今年度は、国語と数学の2教科で実施されました。

右に、山梨県と全国の平均正答率を示します。本校の結果(平均)は次のようになります。

(国語)

全国・県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

① **高かった問題**(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 15問中8問

- ・本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する
(「文章と図を結びつけ、内容を解釈する力」を見取る問題です)
 - ・短歌に詠まれている情景の時間帯の違いをとらえ、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える
(「詠まれている描写をもとに短歌の内容をとらえる力」を見取る問題です)
 - ・行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する
(「行書の特徴を理解しているかどうか」を見取る問題です)
 - ・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する
(「目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうか」を見取る問題です)
- など

② **低かった問題**(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中0問

- ・なし
- ※「話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」「について自分の考えを書く」問題のみ全国を下回った。

(2) 全体的な傾向

- ・学習指導要領の内容では、「話すこと・聞くこと」の領域が全国と同じ値であり、他の「読むこと」、「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関すること」などは全ての領域で全国・県を上回っている。
- ・評価の観点別では、全国・県と比べて、「知識・技能」・「思考・判断・表現」ともに上回っている。

(3) 今後の取組

- ・全体として全国平均を上回っており、基本的な知識・理解、思考力・判断力・表現力の双方でよい結果が出ているので、今後も、活用と習得のバランスのとれた授業を行っていききたい。
- ・全国平均と比較して、低かったのは「話し合いの話題や発言を踏まえて自分の考えを書く」という問題であったので、授業では「話すこと・聞くこと」の領域に重点を置き、日常生活の中でも話し合い活動や自分の意見を持つこと(発表・感想文記入など)をより意識して取り組んでいきたい。



(数 学)

全国・県を上回る

(1) 全国との比較(全国の平均正答率と比べて)

① 高かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、上回ったもの) 16問中6問

- ・ n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それを用いた式で表す
(「連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるか」を見取る問題です)
- ・2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める
(「簡単な場合について、確率を求めることができるか」を見取る問題です)
- ・障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果をもとに、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める
(与えられたデータから最頻値をもとめることができるか)を見取る問題です)
- ・ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとY軸との交点PのY座標の値が表すものを選ぶ
(2つのグラフにおけるY軸との交点について、事象に即して解釈することができるか)を見取る問題です)



など

② 低かった問題(正答率が全国を5ポイント以上、下回ったもの) 15問中2問

- ・一次関数 $y=ax+b$ について、 $a=1$ 、 $b=1$ のときのグラフに対して、 b の値を変えずに、 a の値を大きくしたときのグラフを選ぶ
(「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているか」を見取る問題です)

など

(2) 全体的な傾向

- ・学習指導要領の領域別では、「数と式」「関数」「データの活用」では全国・県を上回っているが、「図形」では全国・県を下回っている。
- ・評価の観点別では、全国・県と比べて、「知識・技能」・「思考・判断・表現」ともに上回っている。

(3) 今後の取組

- ・全体的には、全国平均と比べて高い傾向にあるので、今後も基礎・基本を確実に習得させるとともに、生徒自身が説明したり、意見交流する授業をこれからも工夫していきたい。
- ・全国平均よりも正答率が低かった問題の4問中3問は選択式の問題である。短答式や記述式の問題は正答率が高いことから、文章を読み取る力や状況を想像する力が弱く、選択肢の差異を判断することが苦手と考えられるので、言葉の意味や数学的な表現の仕方を具体的に確認しながら、授業を進めていきたい。